

橋台の設計・3D配筋 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

計算・CAD統合 3D配筋対応

H29道路橋示方書に準拠した
橋台の設計計算、図面作成

プログラム価格
¥389,000
翼壁拡張オプション (H29道示対応)
¥30,000
Windows 7/8/10 対応
電子納品 SXF3.1
IFC 3D PDF
有償セミナー

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、橋台の設計に対応したものです。

【H24道示対応製品との違い】

- 作用の組合せ: 以下のように変換

H24年道示	H29年道示	H24年道示	H29年道示		
常時(死荷重)	永続作用	D	常時(死荷重+活荷重)	変動作用	D+L
地震時荷重	変動作用	D+EQ	常時(温度荷重)	変動作用	D+TH, D+L+TH
衝突時	偶発作用	D+CO	常時(風荷重)	変動作用	D+WS, D+L+WS

- 上部工反力: 死荷重はD, 活荷重はLとして設計に考慮。それ以外の温度荷重や風荷重についてはその他作用として考慮。

Ver.2 改訂内容

2018年1月31日リリース

- 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
- 胸壁、翼壁部材の地震時温度変化荷重 (D+TH+EQ) ケースの照査対応
- 単独設計時の杭基礎において、杭頭接合部の照査に対応

▼作用組合せ

▼永続/変動作用組合せ画面



箱式橋台の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

H29道路橋示方書に準拠した
箱式橋台の設計計算

プログラム価格
¥389,000
底版、翼壁拡張オプション
(H29道示対応)
¥50,000
Windows 7/8/10 対応
電子納品 3D PDF

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、箱式橋台の設計に対応したものです。

【荷重係数, 部材係数】

- 作用力に荷重係数、組合せ係数を考慮
- 部材の制限値に部材・構造係数等を考慮
- 部分係数データのファイル保存/読み込みが可能。下部工-基礎間で同じ係数を使用したい場合等に利用可能

【他製品との連動による設計】

- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」
- 「基礎フレームの設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」
- 「震度算出(支承設計)(部分係数法・H29道示対応)」

Ver.2 改訂内容

2018年2月16日リリース

- 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
- 胸壁、翼壁部材の地震時温度変化荷重 (D+TH+EQ) ケースの照査対応
- 単独設計時の杭基礎において、杭頭接合部の照査に対応

▼荷重係数、組合せ係数画面

▼計算書出力(作用力の集計)

ラーメン式橋台の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

H29道路橋示方書に準拠した
ラーメン式橋台の設計計算

プログラム価格
¥284,000
翼壁拡張オプション
(H29道示対応)
¥30,000
Windows 7/8/10 対応
電子納品 3D PDF

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、ラーメン式橋台の設計に対応したものです。

【部分係数法】

- H29道示に準じて適切な値が設定。係数を自由に変更可能。
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能

【他製品との連動による設計】

- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」
- 「震度算出(支承設計)(部分係数法・H29道示対応)」

【H24道示道示対応製品との違い】

- 従来の隅角部の照査にかわり、端接合部の照査を行う。

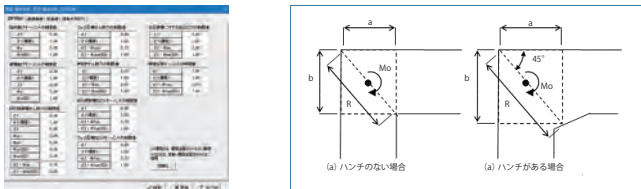
Ver.2 改訂内容

2018年2月20日リリース

- 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
- 胸壁、翼壁部材の地震時温度変化荷重 (D+TH+EQ) ケースの照査対応
- 単独設計時の杭基礎において、杭頭接合部の照査に対応

▼調査・解析係数、部材・構造係数、抵抗係数入力画面

▼端接合部の照査を行う断面(外側引張)



フーチングの設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.2

H29道路橋示方書に準拠した
フーチングの断面照査プログラム

プログラム価格
¥78,000
Windows 7/8/10 対応
電子納品 3D PDF

本製品は、公益社団法人 日本道路協会より平成29年11月に発刊された道路橋示方書・同解説を参考に、フーチングの断面照査に対応したものです。

【部分係数】

- 係数の考慮は、自重、土砂重量、過載荷重、その他荷重
- フーチング下面の作用力、柱基部断面力、杭反力について、予め係数を考慮した値を直接指定
- 自重、土砂重量、過載荷重、その他荷重です。安定計算や柱、上部工計算を行いませんので、フーチング下面の作用力、柱基部断面力、杭反力については、予め係数を考慮した値を直接指定。

【他製品との連動】

- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」, 「橋脚の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」からエクスポートしたXMLファイルを読み込むことにより、形状、配筋、杭配置、荷重ケース等の諸条件の取り込みが可能

Ver.2 改訂内容

2018年2月20日リリース

- 平成29年11月 道路橋示方書・同解説対応
- 基準値画面のコンクリート材質及び鉄筋材質の追加機能対応

▼杭配置画面

▼その他荷重画面

